

(様式第2号)

事業所名 グループホームディーフェスタ東与

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 4 年 11 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 23 | ○思いや意向の把握 コロナ過で面会も制限されており、利用者様の家族様ともゆっくりと話し合える場が少なく、新しく入居された方の生活環境などが一部の職員のみしか把握できていない。 | 施設に従事する職員、パート含め、入居されて間もない方達の生活歴や趣味など把握し、日頃の支援に役立てることができるようになる。 | 日頃からご家族様と電話での連絡をとり、入居する前に聞き取りをした事以外にも話し、そこから日頃の支援に役立てることはすぐに取り入れ職員全員に周知徹底をする。 | 3ヶ月 |
| 2 | 38 | ○日々のその人らしい暮らし 現状、入居されている方達の介護度が高く、食事介助やパット交換が日中の大部分を占めていて、どうしてもバタバタと職員が動いて業務に従事してしまっている。 | 過介護にならずに本人の出来る所をもっと活かしてゆっくりと少しずつご自分で出来る喜びを感じてもらう。 | ケア会議などで毎月2, 3名のアセスメントをして本人の残存能力の意見を出し合い、それを元に支援を行っていく。また、出来たところ出来ないところはそれぞれの棟の申し送りノートに書き出し、職員全員に情報の共有をする。 | 6ヶ月 |
| 3 | 23 | ○職員を育てる取り組み コロナ過にてゆっくりと職員全員でのケア会議や勉強会を開催できず、その人に合ったケアの統一が出来ておらず、我流のケアになってしまっている。 | 利用者様が困っていたり、不穏な状態になっている時の声掛けやケアを統一し、少しでも穏やかに笑顔で過ごして頂けるように支援する。 | コロナも以前と比べると落ち着いてきたので、ケア会議とは別に勉強会やカンファレンスを行い、何が原因で不安になっているのか意見を出し合い声掛けやケアを統一出来るように話し合う場を設ける。 | 6ヶ月 |
| 4 | 52 | ○居心地のよい共有空間づくり 施設自体が老朽化もあり支援することに対して不便なものがあるにも関わらずそれに慣れてしまっている状態。 | 今現在入居されている方達が不安なく毎日楽しく過ごせる環境づくりをしていく。 | 10月の下期より浴室やトイレの工事をを行い、利用者様たちが安全に暮らせる環境づくりに取り組みます。 | 6ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。